

有珠山

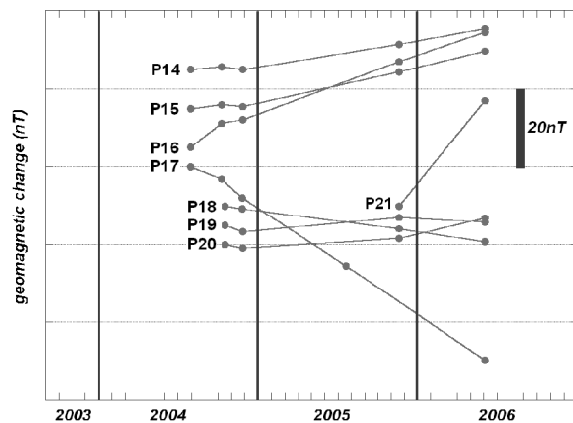
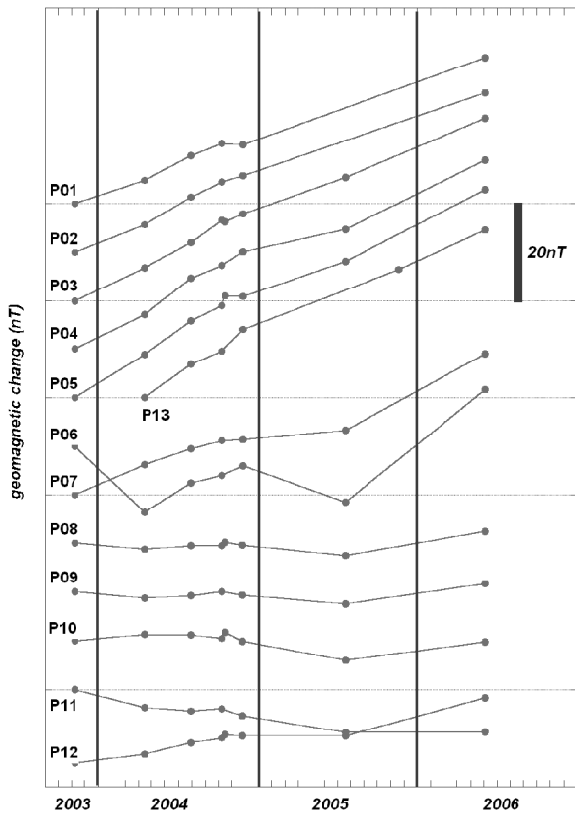
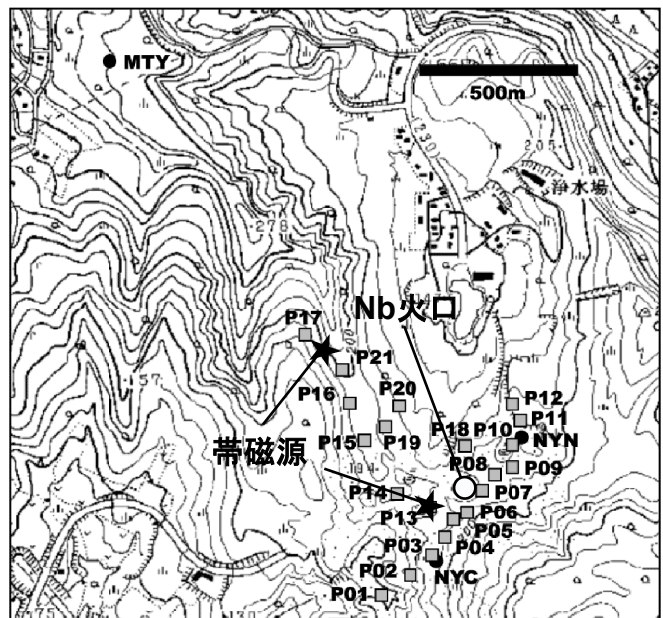
○西山火口域の地磁気変化

Nb火口の南側で全磁力増加，北側でわずかな全磁力減少もしくは横這いの傾向が継続している。このことから，2000年新山（Nb火口付近）の地下数100mの深さで冷却が進行していることが推測される。このほか，北西の地熱地帯の一部にも大きな変化が認められ（P16, 17, 21），P21周辺のごく浅い位置にも正帯磁源が示唆される。

図1（右上）西山火口域周辺の磁気点配置。
○で示した3点はプロトン磁力計による連続観測点。□は繰り返し磁気点を示す。

図2（左下）繰り返し磁気点の全磁力変化
(P01~P13: 2003年11月~2006年6月)。基準点はMTY。

図3（右下）繰り返し磁気点の全磁力変化
(P14~P21: 2004年7月~2006年6月)。基準点はMTY。



(橋本・鈴木・前川)

有珠山